

幼稚園だより

ちよだ



12月号

令和7年11月28日

千代田区立千代田幼稚園

園長 須藤 敏之

最も大切にしている行事の一つ「誕生会」

園長 須藤 敏之

待ち焦がれていた秋があっという間に過ぎ去り、寒い日々が訪れるようになりましたが、子どもたちは元気に園生活を送っています。

千代田幼稚園が最も大切にしている行事の一つの「誕生会」。本園では、誕生日を迎える子に全員で誕生日の歌や出し物やメッセージカードなどをプレゼントしてお祝いしています。極めつけは、お家の人からのメッセージの贈り物です。3歳児ばら組と4歳児さくら組の子どものお家の方からは、誕生した時の様子や名前の由来などをビデオレターにして伝えています。5歳児すみれ組の子どもには、お家の方にご来園いただき、誕生日を迎える本人の前で直接お祝いと将来なっしてほしい姿などを話していただいています。それを聞く子の嬉しそうな恥ずかしそうな何とも言えない表情は、これ以上ないほどの幸福感で溢れています。その様子を見ている他の子どもたちも、普段とは違う友達のうっとり顔を見て、もらいうっとり顔に。その両方を見ている私たち大人も、幸せな気持ちでいっぱいになります。園長として2年目を迎えていますが、誕生会は本当にいいものだなあとつくづく思います。

11月にもなると、進行役やインタビュアーを務めるすみれ組の子どもたちにも変化が見られます。それは、進行の作法やインタビューの仕方が格段に上達しているということです。4月当初は、年長さんになって張り切って取り組むものの、お辞儀するのを忘れたり、友達と呼吸が合わずにバラバラに台詞を言ってしまうたり、緊張して声が出ない子がいたりしていました。ところが今は違います。友達と「せーの」と言って巧技台に上がり、「せーの」でお辞儀をして、「せーの」で台詞を言って、「せーの」でまたお辞儀をする…この「せーの」の囁き声がとても微笑ましく、また逞しくも感じられます。人前で話すことが苦手な子の手をひいて、そっと「さあ言うよ」と励ましながら台詞を言う子。言い終わった後に使命を全うし誇らし気な顔をする子。十人十色ではありますが、すみれ組の子どもたちは達成感を味わっているようです。ばら組・さくら組の子どもたちは、憧れの表情で見つめています。

このように、本園の誕生会は、保護者の皆様のご出演のお陰で、子どもたちの豊かな心を育み、親子の絆を深める絶好の機会になっている行事です。ご多用の中、これまでご出演いただきました皆様、本当にありがとうございました。これからご出演予定の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

12月は、「子ども会」と「展覧会」が予定されています。どちらにもぜひお越しいただき、子どもたちに励ましを送っていただけたら幸いです。よろしくお願いいたします。



千代田幼稚園のホームページもご覧ください。